

令和8年度 地域活性化活動助成の選考結果

(一財) 北海道開発協会 開発調査総合研究所

(一財) 北海道開発協会では、地方版総合戦略と北海道総合開発計画の推進に寄与する地域づくりを支援するため、令和8年度地域活性化活動助成事業を行います。このため、令和8年1月下旬から道内における非営利の市民団体を対象に公募したところです。

応募のあった活動は、地域防災、関係人口、移住定住、地域イベント、観光、コミュニティ、人材育成、地域文化など、多岐にわたっていました。

このほど、これらの活動内容について、厳正な審査を行った結果、下記の5件を選考しました。

令和8年度 地域活性化活動助成団体及び活動内容

(五十音順)

団 体 名	所在地	活動内容の概要
あさひかわジオパークの会	旭川市	【ジオツアーを通じた地域資源発信とローカルガイド育成】 地域の自然や歴史遺産を地学的知見から紐解く「ジオツアー」を通じ資源を再発掘する。ガイド体制やノウハウが不足する道内で、ツアー造成と育成を主導。価値共有や観光資源化を進め、地域の魅力発信を強化し、専門性を活かした人材育成で持続可能な地域活性化に貢献する。
一般社団法人 ウタピリカ	歌志内市	【地域・大学・企業の共創による関係人口創出プロジェクト】 全国最小の市・歌志内市にて、大学・企業との共創により新たな関係人口創出を目指す。炭鉱遺産を巡る「フォトテレーリング」で若年層へ訴求するほか、札幌のコーヒー店と連携した「資源地域間交流モデル」を構築。モノと心の循環を生み、持続可能な活性化モデルを確立する。
一般社団法人 SHIRAOI PROJECTS	白老町	【みなみたとプロジェクト】 白老港第三商港区に仮設コンテナを拠点とした複合型海洋活用事業を実施する。カフェやSUP体験、漁船ツアー等、地産地消と体験を軸に多彩なプログラムを展開し、集客と地域経済への波及を検証。令和9年度以降の常設化を見据えデータ収集、及び持続可能な港湾活性化モデルを目指す。
NPO法人 地域ケアコミュニティ研究所	札幌市	【駒岡多世代共生プロジェクト】 札幌市保養センター駒岡を舞台に、高齢者の「技」と学生・子供の「感性」を融合させ多世代共生モデルを構築。茶室キオスク等での体験や開発、販売を通じ、子供の自己肯定感向上と高齢者の生きがいを創出する。公共施設を地域のリビングと再定義し、孤立防止と健康増進を図る。
NPO法人 人まち育て I & I	札幌市	【旧旅館の再生を通じた、都市部学生と地域を繋ぐ関係人口創出拠点の構築事業】 札幌圏の大学生と羽幌町を繋ぐ関係人口創出事業を展開。旧旅館を大学生と住民の協働でリノベーションし、交流拠点を構築する。一過性で終わらない主体的参画からIターンや定住、住民の意識変容を促し、人材還流と資源活用による持続可能な地域づくりを目指す。